

事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果表 (令和5年度)

		チェック項目		はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	日々定員が100%を超える時はやや狭さを感じる 定員以上の人数を受け入れており、職員配置数も増えるため、スペースに余裕がない 法律上問題はないが、療育をより良く行うには日々定員が1~2名多いと感じる ニーズとのバランス、少グループ制等検討が必要	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			
	⑥	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		施設独自の満足度調査を実施し、保護者の意見やニーズを把握、改善等対策している 保護者要望でホームページ(Twitter)に給食献立をアップしている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		保護者会にて報告し、改善の内容等説明している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%		令和3年度受審済み	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		非常勤職員が参加しやすい時間帯、形での研修、講座については検討が必要	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択されその上で具体的な支援内容が設定されているか	100%			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		月1回以上ミーティング実施 年間を通してチームでもっと行えると良いと現場の声があがっている。実現でき	

					る環境整備が必要 大枠を話し合えれば良いと思う
--	--	--	--	--	----------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		レパトリーを増やしている 障がい特性によっては活動内容を固定化、継続した方が良い児もいるため継続する内容もある 年度の後半になると、児童によってはマンネリ化を感じ飽きているかもしれない 大枠を話し合えれば良いと思う
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%		
適切な支援の提供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		朝礼、打合せにて実施 詳細を確認している
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		敢えて時間を取らなくても、自然と振り返りの時間となり改善点、改善策の話までできている 打合せ時間は設けていないが職員間で自然にその日の情報共有は行うことができていると感じる
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		その日によって記録をとる余裕がない日時もあるが後日行う時もある
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		平日、土曜どちらで実施してもメリット・デメリットがあるので実施方法については毎回職員の意見を聞き尊重していきたい
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		他機関の事業所の会議にも参加する場合がある
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		もっともっと関係を深め連携していく必要性はあるだろう
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			非該当 (受け入れていない)
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			非該当 (受け入れていない)
	㉕	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		保育所・幼稚園訪問相談支援時に実施している 並行通園児が8割以上いるため保護者のニーズを受け訪問した際には情報交換を積極的に行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		小金井特別支援学校には毎年春に卒園児の引継ぎのため出向いている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関	75%	25%	市内の連絡会に参加している 連携はしているが助言、研修等はなく会

	と連携し、助言や研修を受けているか	%	%	議等での情報交換にとどまっている
				必要性は感じているがコロナ禍であったこともあり具体的な検討ができておらず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	62.5 %	37.5 %	今後検討していきたい 並行通園児は個別にあるが全日登園児はないので課題である
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100 %		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100 %		
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	62.5 %	37.5 %	保護者学習会を実施している 個別面談等での助言は多々ある 具体的な助言の中にはペアトレの内容と重複するものは多々ある。ペアトレの講座情報等は伝えている
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100 %		
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100 %		
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100 %		
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100 %		年2回保護者懇談会を実施している 保護者主体の集まり時、場所の提供(体育館貸し出し等)をしている 父母会がないが、保護者の集まり等に場所の提供等協力している
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100 %		
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100 %		毎月「すけっちだより」を発行
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100 %		事故が起きてしまった際には謝罪、再発防止対策を検討している
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100 %		
非常時の対応	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100 %		コロナ禍で行事の参加は行っていないが遊び場の提供、子ども食堂は実施 コロナのため実施できていない コロナウイルス感染症流行前はできていた。今後社会情勢を見て検討したい
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100 %		保護者への周知には課題がある 保護者への周知は不十分なため検討の必要がある
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100 %		

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%		実際に発作になった場面の動きの確認がしたいと思う
----	------------------------------------	------	--	--------------------------

		チェック項目		はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
非常時の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	75%	25%	規程は整備されているが身体拘束は未だ行っていない 対象児がいないため行っていない	

○この「事業所内における自己評価結果」は事業所（児童発達支援「すけっち」）全体で行った自己評価です。

○実施日 令和5年12月22日配布 1月13日回収

○回収率 100% 対象職員 8人配布